



今回の法改正で まちの喫煙ルールが変わります!

原則敷地内禁煙



学校・病院・児童福祉施設・
行政機関の庁舎など

- 一定の要件を満たせば屋外に喫煙場所の設置が可能

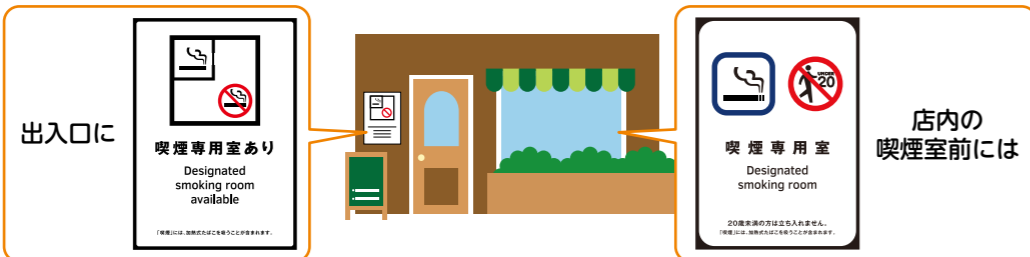
原則屋内禁煙



飲食店・事業所・工場・
地域の集会所など

- 喫煙専用室・加熱式たばこ専用喫煙室は喫煙可能
- 飲食店の小規模店舗は経過措置有

喫煙設備のある施設が標識でわかるように



屋内禁煙とはいえ、所定の条件を満たせば施設内に喫煙室の設置が可能です。その場合は定められた標識を施設の主な出入口と喫煙室前に掲げることが義務付けられます。

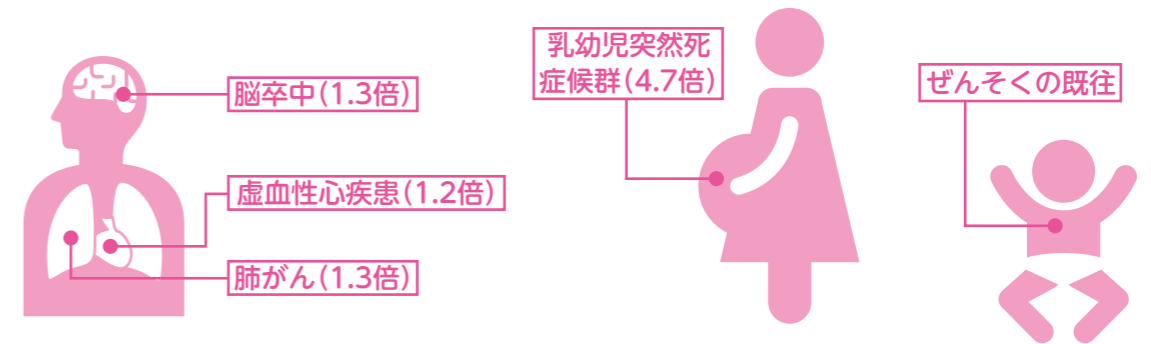
※自宅やホテルの客室などは、屋内禁煙の適用外となります。

ご存知かもしれませんが 受動喫煙の影響をお伝えします!

厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」より



年間約1.5万人が受動喫煙を受けなければ、
死亡せずに済んだと推計されている疾患は以下のとおりです。
また、受動喫煙にさらされている人は病気にかかりやすくなります(カッコ内倍率)。



国民の8割以上は
非喫煙者



非喫煙者が受動喫煙に遭遇した場所



たばこを吸わない人は特に注意

非喫煙者はたばこの煙に対する感受性が高く、煙を吸うと少しの量でも大きな健康影響を受けるという報告もありますので、一層の注意が必要です。

望まない受動喫煙をなくすには、私たち喫煙者がルールを守っていくことが大切です



【A】 たばこ葉やその加工品を専用の機器で加熱してニコチンなどを吸引するものを加熱式たばこといいます。主流煙に含まれるタールなど発がん性物質の一部の含有量は一般的なたばこに比べ少ないとされています。しかし、新たに生じた成分の情報十分でなく、たばこの安全な代替品とはならないことが指摘されています。受動喫煙による健康被害についても研究が進められています。注意が必要です。

【Q】 加熱式たばこも健康に影響があるの?

主な有害物質の含有量の比較

| 成分 | 主流煙 | 副流煙 |
|--------------------|-----|------|
| ニトロソアミン(発がん性物質) | 1 | 52倍 |
| アンモニア(目を刺激) | 1 | 46倍 |
| 一酸化炭素(血中酸素濃度を低下) | 1 | 4.7倍 |
| タール(発がん性物質、肺機能の低下) | 1 | 3.4倍 |
| ニコチン(血管を収縮、依存性物質) | 1 | 2.8倍 |

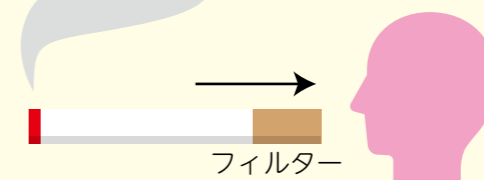
【Q】 副流煙と主流煙の有害物質はどれくらい違うの?

副流煙

たばこに火をつけて放置した状態で煙が立ち上る。主流煙に比べると燃焼温度は500度と低く、有害物質はあまり分解されない。通すフィルターなどもないため、煙の中には多くの有害物質が残ったままとなる。

主流煙

たばこを吸うことで先端の温度は900度まで熱せられ、有害物質が分解された状態となる。さらにフィルターを通して吸い込むため有害物質は比較的減少する。



【Q】 どうして副流煙に含まれる有害物質のほうが多いの?

たばこQ&A